

栽培募金型自販機の設置開始

神奈川県栽培協とサントリーグループ

神奈川県栽培漁業協会（後藤勇理事長）とサントリービバレッジサービスは、「自販機設置に伴う募金に関する契約書」を締結した。栽培募金型自販機は県内の遊漁船業者の店頭などに設置。売上金の一部が同協会に寄付されることになる。

同自販機には、マダイ、ヒラメ、カサゴがデザインされ、「お買い上げ料金の一部を放流事業に活用させていただきます」とうたい、協力を約束した県の水産関係団体・事業所の店頭などに置くことになる。

この自販機はこれまで、JF岩漁協やJF藤沢市漁協などに設置。県栽培協会は設置交渉を進めており、新しい形の募金による支援の広がり期待を寄せている。



遊漁船業者の協力で設置された栽培募金型自販機